

# 当院の CT 検査における被ばく

## ○CT 検査とは？

X 線を体に照射すると、組織の組成等の違いにより X 線の減弱度合いに違いが生じます。

CT 検査は、その違いを利用してコンピュータ処理を行い、画像を構成しています。

CT 検査そのものに痛みはありませんが、放射線被ばくをとこなう検査となります。

## ○CT 検査にとこなう放射線被ばくについて

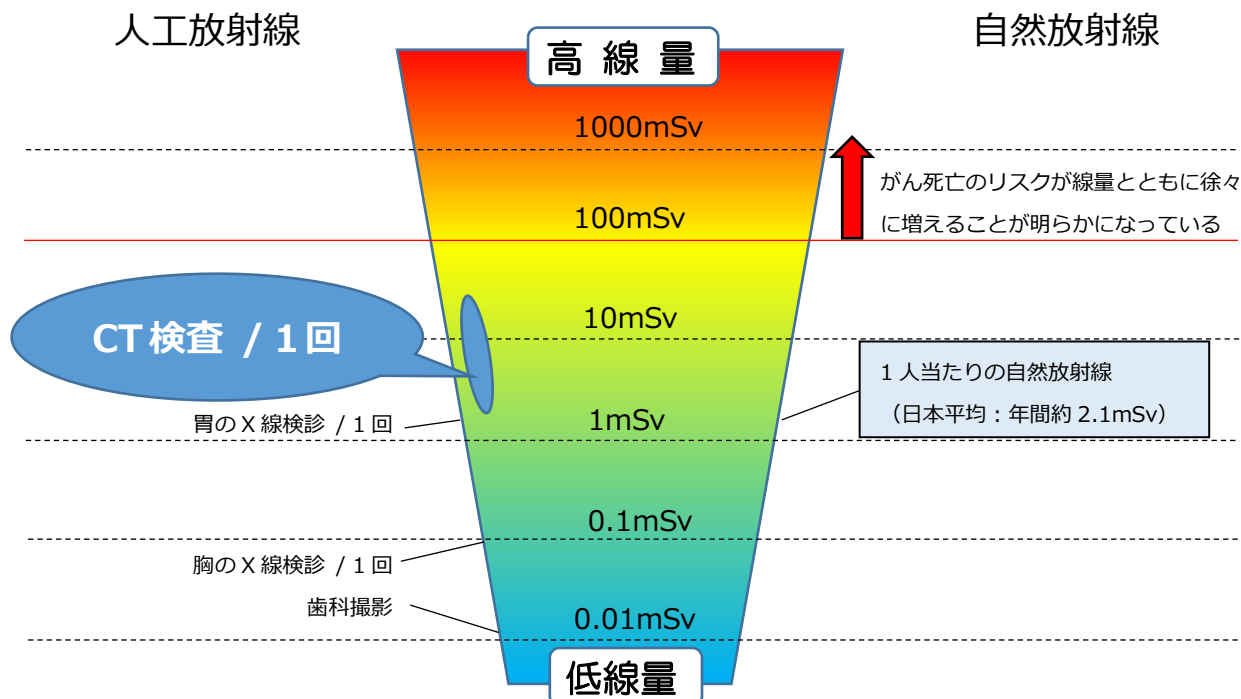
放射線の体に及ぼす影響は、100 ミリシーベルト(mSv)未満であれば、発がん率や遺伝的な影響に差はないと言われており、通常の CT 検査では 100 ミリシーベルトを超えることはありません。

当院における CT 検査は、医療情報被ばく研究情報ネットワーク(J-RAIME)が提案する診断参考レベル(DRL s 2020)を参考に被ばく線量低減に努めています。

## ○当院の CT 検査における標準的な被ばく線量

標準体型の成人	診断参考レベル (DRLs2020)			当院 CT の 2022 年度平均		
	CTDIvol (mGy)	DLP (mGy・cm)	実効線量 (mSv)	CTDIvol (mGy)	DLP (mGy・cm)	実効線量 (mSv)
頭部単純ルーチン	77	1350	2.84	69.4	1535.5	3.22
副鼻腔	表記なし			15.3	263.7	0.55
胸部 1 相	13	510	7.14	10.0	445.5	6.24
低線量 (胸部/腹部)	表記なし			1.6/7.1	65.6/394.6	0.92/5.92
胸部～骨盤 1 相	16	1200	18.00	14.3	1092.0	16.38
上腹部～骨盤 1 相	18	880	13.20	16.8	933.5	14.0
肝臓ダイナミック	17	2100	31.50	12.5	1368.4	20.53
冠動脈	66	1300	19.50	当院では検査を行っていません		
急性肺血栓塞栓症 深部静脈血栓症	14	2600	39.00	10.0	2127.1	32.0

## 身の回りの放射線被ばくの早見表



実効線量の単位：ミリシーベルト (mSv)

※図等は放射線医学研究所ホームページを参照しました